● 日本 ・ シンガポール ・ マレーシア ― そしてその先の市場で、パートナーを募集しています

オーストラリアで築き、世界のパートナーを求めて。

Built in Australia. Looking for partners worldwide.

QORINAI は、オーストラリア国内でコンプライアンスを満たし稼働中の GPU ホスティング事業を持つコンソーシアムです。本資料では、この事業をグローバルに展開する方法と、各市場で求めるパートナー像を示します。パートナーは顧客・前払金・ GPU ファイナンスを、私たちは設備・コンプライアンス適合施設・運用を提供します。

26 MW+
コンソーシアム各社が納入した高密度コンピュート

HGX B300
NVIDIA Blackwell Ultra 、オーストラリアで構成・テスト済み

99.9 %
ノード可用性 SLA 、 24×7 運用

100 %
オーストラリア資本・ガバナンス、KYC 適格

● 私たちについて　·　WHO WE ARE

一つのオーストラリア・コンソーシアム。サプライチェーン全体を担う。

One Australian consortium. The whole supply chain.

QORINAI はオーストラリアの AI データセンター開発・運用会社です。豪州のオープン OEM サーバーメーカーを戦略株主に迎え、 2008 年から高密度コンピュートを構築・運用してきたデリバリーパートナーとともに構成されています。 GPU プロジェクトに対し、責任を持つ唯一の契約相手となります。

戦略株主

オープン OEM メーカー — ハードウェア、保証、供給枠

運用

24×7 NOC 、ソブリンクラウド、 ISO 27001 管理

デリバリーパートナー

エンジニアリング、EPC 、高密度 DC 構築

専門事業者

電気・液冷・コンプライアンスの専門業者

QORINAI　ハードウェア・施設・導入・運用・ソフトウェアという AI データセンターの全チェーンを、一つの契約と一つの SLA で提供するために共同設立。

01	02	03	04	05	06	07	08
土地／電力	設計	建設	ハードウェア	導入	運用	ホスティング	コンピュート

04 〜 07 が海外に持ち込む領域：ハードウェア、導入、運用、既存施設でのホスティング。

海外パートナーにとっての意味

適格・供給・運用を、一つの契約相手が担う。

- ✓ **調達資格は私たちが保有。** 豪州法人が KYC 適格の購入者となり、現地顧客はキャパシティをリースするだけで、購入者資格を取得する必要はありません。
- ✓ **供給の確実性。** メーカーが株主に名を連ねる — 割当・構成・保証をオーストラリアで実施。
- ✓ **運用実績。** メンバー企業は 2008 年から Tier III+ コロケーション、 2025 年から液冷 GPU クラスターを運用。
- ✓ **オーストラリア法とガバナンス。** 豪州資本・豪州人取締役・ ISO 27001 統制 — ベンダー、レンダー、規制当局がデューデリジェンスできる契約相手。

オーストラリアで築いた実績 — いま QORINAI のために納入するチームによって。

Built in Australia, by the teams that now deliver for QORINAI.

4 つのプロジェクト、4 つの能力 — 系統連系、モジュール型のスピード、継続運用、オーナー直営の液冷納入。同じ人材が 4 件すべてを、そして国境を越えて担います。

26 MW+
納入した高密度コンピュート

80 MW+
エンジニアリング責任者が納入した液冷容量

27 yrs
データセンター基盤の経験年数

18 yrs
単一施設での継続コロケーション運用

~14 MW

高密度コンピュート施設、グレーターシドニー

豪州で最も連系制約の厳しい地域の一つで、配電事業者との直接調整により受電。カスタム高風量冷却、テナント分離、多層物理セキュリティ。

ポートフォリオ最大の単一建設案件

~11 MW

発電所隣接のモジュール型データセンター、 NSW

7 年間のテイク・オア・ペイ契約の下、8 基の可搬型 2.5 MW モジュールをビハインド・ザ・メーターで設置。後に海外へ移設され現在も稼働 — 真に再配置可能な設計。

5 か月で 1.9 → 20 MW に段階拡張

100 ラック

都心コロケーション、シドニー — 2008 年から

N+1 の電源・冷却、シドニー主要データセンターへの冗長ダークファイバーリング、プライベートケージ、 ISO 27001 統制下のリモートハンズ。

99.9 % SLA の信用基盤

1 MW

液冷 GPU クラスター、シドニー — 元請 EPC なし

電気・機械／液冷・配線・コンプライアンスの各業者と直接契約。 PUE < 1.10 のポッド設計、 100 kW 超の HGX 級ラック。

HGX B300 に必要な密度を、すでに構築済み

プロジェクトはコンソーシアム各社が納入。契約相手・サイト詳細は NDA の下で開示

資本はグローバル。電力・許認可・顧客はローカル。

Capital is global. Power, permits and customers are local.

AI によりデータセンターは世界最大の資本形成プログラムとなり、資金は国境を自由に越えます。越えられないのは系統連系、受入国の許認可、現地顧客です。したがって海外でのコンプライアンス適合 GPU 容量には、適格な設備運用者と現地パートナーの二者が必要です。

US$1 tn+

2026 年の世界データセンター IT 設備投資（Dell'Oro）；約 75 % が AI サーバー・GPU・施設向け

US$150 bn

ネオクラウド中間層での契約済み GPU 容量コミットメント（Microsoft、Meta、OpenAI）

3–5 yrs

主要ハブの系統連系待ち期間 — 北バージニアも東京も同様

0.3 %

主要市場の受電済み Tier III+ 容量の空室率；2030 年まで供給逼迫

US$17.6 m

新設液冷 AI 施設の MW 当たり建設費、前年比 +21 %

US$25 bn → 300 bn

データセンター ABS 市場の現状と今後の借換需要（SFA、2026 年 7 月）

読み解き

二つの層、二種類のパートナー。 受電済みの箱 — 不動産とエネルギー — はローカルで時間がかかる。コンピュート層 — GPU — はグローバルで速く、契約に裏付けられた設備担保のキャッシュ利回りが今まさに生まれている場所です。 QORINAI はコンピュート層を運用し、箱・顧客・現地資本を持つパートナーを求めています。

出典： Dell'Oro · Moody's 2026 · Cushman & Wakefield 2026 · CBRE 2026 Q1 · SFA 2026 年 7 月

この業界では、コンプライアンスが入場券。

In this industry, compliance is the entry ticket.

NVIDIA のデータセンター売上は前年比 117 % 増。しかし先端アクセラレータは規制品目であり、ベンダー・購入者・仕向地・施設・レンダーのすべてが審査され、どれか一つでプロジェクトは止まります。真の障壁はチップの入手ではなく、何年も合法的に運用することです。

輸出管理はチップに付いて回る

米国 EAR は先端アクセラレータ（ECCN 3A090 / 4A090）を仕向地・エンドユーザー別に規制；BIS ガイダンスは 2025 ～ 26 年に更新。 B300 の対中販売は制限、グレー市場の出所リスクが上昇。

ベンダー・チャネル資格

NVIDIA と OEM チャネルは、KYC 適格でホワイトリスト登録され、最終用途誓約書に署名した購入者にのみ販売。資格のない購入者は、いくら払っても割当を得られません。

受入国の許認可

日本：外為法／経産省；シンガポール：戦略物資（管理）法と厳格な執行；マレーシア：戦略貿易法に基づく 2025 年の米国原産 AI チップ許可制。

施設・データ基準

Tier III+ 施設、 ISO 27001 統制、データレジデンシー、検証済み物理セキュリティとアクセスログ — 顧客・監査人・保険会社のいずれもが要求。

ファイナンス条件

レンダーが融資するのは、瑕疵のない付保可能な所有権、検証済みエンドユーザー、適合施設のリース契約、月次報告がそろった案件のみ。コンプライアンスこそが設備をファイナンス可能にします。

適合なしでは

割当なし（ベンダー） · **リースなし**（Tier III+ 施設） · **融資なし**（レンダー） · **顧客なし**（自社監査を通せない）

規制の要約は参考情報。各取引は契約前に現地弁護士が確認

QORINAI が合法的に実行できる理由。

Why QORINAI can do this compliantly.

私たちはオーストラリアで既に入場券を保有。同じ法人、同じ施設基準、同じ統制を日本・シンガポール・マレーシアに持ち込みます。

Tier-1 国の適格購入者

オーストラリアは米国 AI チップの Tier-1 パートナー国 — 国内で輸出許可の摩擦なし。豪州法人は GPU 購入 KYC を通過し、すべての取引で設備を所有します。

今日すでに適合ホールで運用

オーストラリアで Equinix / NEXTDC 級の Tier III+ ホールにおいて締結済み契約の下で運用中 — 海外に求める基準は、国内で満たしている基準そのものです。

ISO 27001 統制

運用メンバー企業の認証済み情報セキュリティ体制の下でアクセス・変更・インシデントを管理 — 顧客とレンダーが監査可能。

オーストラリア法と株主

豪州資本の法人と取締役；所有者とハードウェアの間に外国の承認は介在しません。契約相手がデューデリジェンスできる法に準拠。

全シリアル番号の管理

最終用途誓約、シリアル追跡、転売禁止、契約外のサブリース禁止；取引・法域ごとに現地弁護士が承認。

報告を運用に組み込み

顧客・パートナー・レンダーへの月次の稼働率・健全性・所在報告 — コンプライアンス書類に必要な証跡が、運用の副産物として生まれます。

ストラクチャーがコンプライアンスを保つ仕組み

ベンダー
Hyperscalers オープン OEM チャネル · NVIDIA 割当

↓

豪州 SPV
KYC 適格の購入者 · 契約期間中は設備を所有

↓

現地の適合施設
SPV がリースする Tier III+ ホール · 日本／シンガポール／マレーシア

↓

現地顧客
ハードウェアではなくキャパシティをリース · 購入者資格は不要

ホワイトリスト資格は SPV に留まり、ハードウェアの所有者は変わりません。顧客はリースでキャパシティを購入 — 規制品目は規制対象者の手元に留まります。

日本・シンガポール・マレーシア —
電力付き容量が希少で、準拠した運用者が参入の条件となる市場。

Japan, Singapore, Malaysia — where powered capacity is scarce and a compliant operator is the entry ticket.

いずれの市場も電力制約があり、先端アクセラレータには正式な許可制度があり、ハードウェア・顧客・運用チームを携えて来るテナントが優遇されます。私たちは各市場に現地パートナーとともに、現地の Qinari ビークルを通じて参入します。

JP 日本 — APAC 最大の AI 需要、最も逼迫した電力網。

1,473 MW
東京の稼働 IT 容量 — APAC 最大（Knight Frank 2026）

6 %
東京コロケーション空室率、2026 年 Q1 （CBRE）

規制上のルート
米国 EAR 輸出許可とエンドユーザー書類を外為法に基づき経産省に届出；日本の顧客から最終用途の保証を取得。

施設リース
SPV が首都圏または大阪の稼働中 Tier III+ ホールでスペース・電力・冷却をリース — 新設なし、系統待ちなし。

SG シンガポール — 希少・高価・厳格な管理。

1,118 MW
稼働 IT 容量 — APAC で東京に次ぐ第 2 位（Knight Frank 2026）

2 %
2026 年コロケーション空室率（CBRE）； Knight Frank 基準 4.9 %

規制上のルート
戦略物資（管理）法の許可とエンドユーザー申告。シンガポールは積替え不正を訴追 — ホワイトリスト、シリアル追跡、転売禁止条項がその答えです。

施設リース
SPV が稼働中 Tier III+ ホールの受電済みスペースをリース — DC-CFA 事業者または改修済み高密度スペース。

MY マレーシア — APAC 最大の計画容量、空室率 0.7 % 。

1,110 MW
ジョホールの稼働 IT 容量 — APAC 第 3 位（Knight Frank 2026）

0.7 %
ジョホールのコロケーション空室率 — 域内で最も逼迫

規制上のルート
2010 年戦略貿易法：米国原産 AI チップは戦略品目 — MITI 許可と 30 日前通知；併せて米国 EAR 許可とエンドユーザー書類。

施設リース
SPV がジョホールまたはサイバージャヤの稼働中 Tier III+ ホールで受電済みスペースをリース — 事前予約が進む市場では、ハードウェアと顧客を携えたテナントが有利。

規制の要約は参考情報です。各取引は署名前に現地の法律顧問が確認します。

Sources: CBRE Global DC Trends 2026 · Knight Frank DC Atlas 2026 · METI · IMDA / EDB · MITI

コロケーション・パートナーシップを 1 ページで。

The co-location partnership, on one page.

私たちは、適格で経験ある運用者が必要な 3 つを提供します。パートナーは、現地の関係と現地資本が必要な 3 つを提供します。その中央にある適合施設が、両者の接点です。

QORINAI が提供 ・ QORINAI BRINGS

設備の供給

Hyperscalers がオーストラリアで構成・テストした HGX B300 システム、ファブリック、ストレージ。 KYC 適格の Qinari SPV が購入・所有。

適合施設

対象市場の Tier III+ ホールで SPV がスペース・電力・冷却をリース — 当方またはパートナーの施設。

導入と 24×7 運用

ラッキング、ファブリック構築、バーンイン、ベンチマーク付き引渡し；その後 99.9 % ノード SLA の 24×7 運用と月次報告。

適合 Tier III+ 施設

日本 ・ シンガポール ・ マレーシア

- ✓ SPV 所有の GPU クラスター、 QORINAI が運用
- ✓ 期間契約で現地顧客にキャパシティをリース
- ✓ レンダーの担保：ハードウェア、リース、報告

パートナーと顧客が提供

期間契約のオフテイク顧客

12 か月以上のコミット期間でキャパシティをリースする現地企業、 AI 企業、クラウド事業者。

前払金

契約時に契約総額の一定割合を支払い — 顧客のコミットメントであり、ファイナンスのエクイティ層。

GPU ファイナンス

パートナーまたは顧客の金融機関と組成する設備担保融資。 SPV のハードウェアとオフテイク契約を担保。

原則： ハードウェア、施設リース、所有権は適格な豪州 SPV に留まり、顧客・前払金・ファイナンスは参入先の市場から。

一つのプロジェクトに、一つのビークル。

One project, one vehicle. Every partnership ring-fenced.

各パートナーシップ — GPU クラスターとそのリース、データセンター建設、新しい国 — はそれぞれ Qinari の名を冠した独立の特別目的会社（SPV）であり、固有の資産・契約・資本・レンダー・リターンを持ちます。 QORINAI がすべてのビークルを運用し、パートナーは自ら選んだビークルにのみ投資します。

Qinari Compute

GPU 設備の所有とリース

クラスターを所有し、コンピュートをリース。

- ✓ 保有：サーバー、ファブリック、予備品、保証
- ✓ 契約：キャパシティまたは設備リース；QORINAI との O&M
- ✓ 資金：設備ファイナンスとパートナー出資

設備金融機関 · GPU 所有者 · オフテイク顧客

Qinari Infrastructure

データセンター開発・建設

土地、電力、ホールを保有。

- ✓ 保有：土地、連系権、設備、建物
- ✓ 契約：開発、建設、ホスティングまたはリース； O&M
- ✓ 資金：パートナー出資、プロジェクト／建設融資

エネルギー企業 · インフラファンド · 設備出資型サプライヤー

Qinari International

オーストラリア以外のビークル

同じモデルを、パートナーの所在地で設立。

- ✓ 保有：コンピュート、インフラ、または両方 — 現地プロジェクトの必要に応じて
- ✓ 契約：現地パートナー契約、 QORINAI サービス、ハードウェア供給
- ✓ 資金：現地パートナー資本、輸出・開発金融

日本 · シンガポール · マレーシア · 中東

なぜプロジェクトごとにビークルか

リスク分離 一つの資産の遅延やリース事由が他のビークルに波及しない

明確な資本構成 パートナーはプロジェクト単位で、選んだビークルにのみ投資

レンダー対応 単一目的・資産担保；連結なし、クロスデフォルトなし

利害の一致 QORINAI が共同出資し、サービス契約の下で各 SPV を運用

法域への適合 豪州資産には豪州法人、海外には現地ビークル

出口の選択肢 借換、保有、または売却 — ビークル単位で

Qinari SPV に置くもの ・ SITS IN THE QINARI SPV

設備・土地・建物の法的所有権 · 顧客のリース・キャパシティ・ホスティング契約 · プロジェクト債務と当該ビークル資産上の担保 · パートナーの持分と株主間契約 · 分離された口座と月次報告

QORINAI に残るもの ・ STAYS WITH QORINAI

エンジニアリング・導入・ 24×7 運用チーム · IntraLLM プラットフォーム、手法、設計 · Hyperscalers を通じたハードウェア供給関係 · 各ビークルとの開発管理・ O&M ・サービス契約 · パートナーと並ぶ各ビークルへの共同出資

Qinari — 「ファブリックの中のコア」； 一般的な枠組みでありオファーではありません； 条件・法域・持分はビークルごとに NDA の下で合意

融資・移設・更新できるオープン OEM ハードウェア。

Open-OEM hardware that can be financed, moved and upgraded.

株主 Hyperscalers を通じてオーストラリアで構成・テスト・保証。オープン OEM は安いだけでなく、期間満了時の移設・残存価値オプションを現実のものにします。

ロックなし、再配置可能

ハードウェアにもソフトウェアにもベンダーロックなし。フリートは再イメージ化・再ラッキングして別の施設や市場へ移設可能 — 期間満了時の移設オプションを設計段階から組み込み。

オープンな経済性

オープン OEM 価格と汎用部品により、 GPU 当たりの資本コスト — そして GPU ・月当たりのリース価格 — を Tier 1 OEM 製品より低く。

契約期間に合わせた保証

標準 36 か月 RMA 、一般的なリース期間と整合；延長保証も可能。ホットスペアとコールドスタンバイノードは CAPEX に計上。

ファブが満杯でも割当を確保

CoWoS パッケージングは 52 ～ 78 週先まで予約済み、 HBM3E は完売；株主メーカー経由の割当が、タームシートを実際の納品に変えます。



NVIDIA HGX B300 8-GPU ・ G894-SD3

GPU	8× NVIDIA B300 Blackwell Ultra・NVLink + NVSwitch
CPU	2× Intel Xeon 6 6767P・ 各 64 コア
ファブリック	ConnectX-8・8× 800 Gb/s OSFP
形状	8U・ 空冷またはチップ直接液冷
納品	L10 組立・テスト済み ・ オーストラリア保証

ラック内のその他 ・ ALSO IN THE RACK

GB300 NVL72 ラックスケール ・ メモリ律速推論向け AMD Instinct MI325X ・ InfiniBand XDR / 800G Ethernet ファブリック ・ NVMe オールフラッシュと並列ファイルシステム

参考プラットフォーム ・ 仕様は参考値であり最終構成により変更

GPU は稼働してこそ資産 — そして計測されてこそファイナンス可能。

GPUs are only an asset when they are busy — and only financeable when they are measured.

電力会社が送電網を運用するように GPU フリートを運用します：常時計測、故障前の保守、所有者とレンダーへの月次報告。その報告書は、コンプライアンス書類に必要な文書そのものです。

99.9 %
ノード可用性、月次 SLA

15 分以内
P1 対応、エンジニア現地対応

4 時間以内
一般スマートハンズ

128 ノード
クラスター単位 — 1,024 GPU 、 800G ファブリック

導入 — 箱のままではなく、ベンチマーク付きで引渡し

1. **ラッキングと電源** ラック配置、バスウェイ分岐、 A+B PDU バランス、 DLC ノード用液冷マニホールド。
2. **ファブリック構築** レール最適化 InfiniBand XDR または 800G RoCEv2 、 1:1 ノンブロッキング、ホール間二重経路リンク。
3. **バーンインと検証** ファームウェア基準、 DCGM 、 NCCL all-reduce 、 HPL 、熱ソーク — ノードごとに記録。
4. **プラットフォーム引渡し** Slurm または Kubernetes 、ストレージマウント、テナント分離、監視とランブックを初日から。

運用 — すべての GPU を計測し、毎月報告

- ✓ SM 占有率、 Tensor Core 使用率
- ✓ Xid 障害、リセット、 GPU ・ラック当たり電力
- ✓ HBM 温度、 ECC 、行リマップ回数
- ✓ 冷却液供給温度、 CDU ごとの ΔT
- ✓ NVLink / NVSwitch のエラーと再トレーニング
- ✓ ファブリック健全性、スループット、キュー深度

顧客・パートナー・レンダーへの月次報告：稼働率、 SLA 達成率、インシデントと RMA 、ファームウェア基準、シリアル単位の資産所在。 24×7 NOC ・ ファームウェア・ドライバ・ CUDA のライフサイクル管理 ・ ホットスペアによる RMA 。

顧客ネットワーク内で GPU 時間当たりの成果を高める。

More work per GPU-hour for the customer — inside their own network.

IntraLLM は QORINAI が Hyperscalers と共同開発したエンタープライズ AI プラットフォーム：オーケストレーション、モデル、アシスタント、自動化を一つのコンソールに統合し、私たちが導入するクラスター上で稼働。リースしたクラスターが顧客にもたらす価値を高め — 顧客が契約期間にコミットする確信を強めます。

プライベート／オンプレ | エアギャップ対応 | 自社モデルの持ち込み | NVIDIA ・ AMD GPU 対応



IntraLLM コンソール ・ クラスターマネージャー — GPU ごとの使用率・メモリ・電力・温度

クラスターマネージャー

全ノードにわたる GPU ジョブのオーケストレーションとライブテレメトリ — アイドル GPU を可視化し回収。

モデルリポジトリ

厳選されたオープンウェイト LLM / LMM モデルをローカルでバージョン管理；同じクラスターで推論とファインチューニング。

ビジネスアシスタント

顧客の文書・システム・ポリシーに基づくアシスタント — 社内向けにも顧客向けにも。

プロセス自動化

画面を読み取り、フォームに入力し、 ERP ・ CRM ・チケットシステムをまたいでワークフローを完了するエージェント。

自社モデルの持ち込み

厳選リポジトリと並行して、独自モデルをロード・ファインチューニング・提供。

データは建物の外に出ない

プロンプトもデータも外部 LLM には送らない；アーキテクチャによるコンプライアンス — ハードウェアと同じ原則。

● 協働 · WORKING TOGETHER

私たちが求めるパートナー像 — そしてパートナーが得るもの。

What we look for in a partner — and what a partner gets.

このモデルは 3 種類の現地パートナーと機能します。それぞれが私たちには輸入できないものを持ち込み、それぞれが自力では容易に構築できない適格な契約相手を得ます。

チャネル・オフテイク開拓者

顧客、現地の契約関係、コミット期間を提供。販売できるファイナンス可能な商品を獲得 — 顧客が購入・輸入・資格取得をしなくてよい GPU キャパシティ。

施設事業者

適合 Tier III+ スペース、電力、許認可を提供。自前のハードウェア・運用チーム・契約済み顧客を持つ、適格で付保済みのテナントを獲得。

金融機関

設備担保融資またはリースファイナンスを提供。瑕疵のない SPV 所有権、テイク・オア・ペイ契約、前払金のクッション、運用者からの月次報告を獲得。

パートナーが提供するもの · WHAT THE PARTNER BRINGS

- ✓ 12 か月以上のコミット期間を持つ現地オフテイク顧客
- ✓ 現地の商業・法務・契約関係
- ✓ 顧客側の前払い能力；現地金融機関へのアクセス
- ✓ 顧客側の運用窓口と最終用途の保証
- ✓ 当方に拠点のない地域での適合施設の紹介

パートナーが得るもの · WHAT THE PARTNER GETS

- ✓ ハードウェアを購入・輸入・所有する KYC 適格の豪州契約相手
- ✓ 株主メーカーからの設備 — 割当、保証、予備品
- ✓ 導入・ベンチマーク済みで、単一 SLA の下 24×7 運用されるクラスター
- ✓ ファイナンス可能なストラクチャー： SPV 所有権、テイク・オア・ペイ契約、月次報告
- ✓ その上に IntraLLM — 顧客がリースする GPU 時間ごとの価値を最大化

QORINAI

● 次のステップ · NEXT STEPS

国内基盤は盤石。
世界へ共に進むパートナーを求めて。

Strong at home. Looking for partners to go global.

貴社の市場の顧客・施設・資本を持ち込んでください。私たちは適格 SPV 、ハードウェア、運用チームを持ち込みます。最初の対話から最初の取引締結までの道のりは短く、契約締結までは各ステップを戻すことができます。

qorinai.ai · お問い合わせフォーム、 1 営業日以内に返信

A/200 Bourke Rd, Alexandria NSW 2015, Australia

最初の取引までの道のり

1. **NDA とデータルーム**
   コンソーシアムの実績、 KYC 状況、参考構成、運用 SLA
2. **市場ワークショップ**
   貴社の顧客と施設；当該法域向けの当方ストラクチャー、許認可、コンプライアンス書類
3. **施設の候補リスト**
   電力、冷却方式、許認可、接続性を確認済みの Tier III+ ホール
4. **タームシート**
   容量、期間、価格、前払金、ファイナンスルート、リスクマトリクス
5. **契約と最初のポッド**
   キャパシティ・リース、発注、施設リース、ファイナンス — その後、導入と運用

© 2026 QORINAI Pty Ltd · 予備的情報でありオファーではありません · ストラクチャー、条件、規制情報は参考であり取引ごとに現地弁護士と確認 · 実績プロジェクトはコンソーシアム各社が納入；契約相手は NDA の下で開示